

# 日ごろのお手入れ

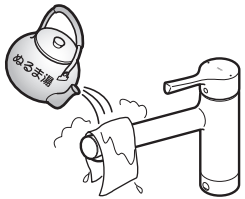
十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために、日ごろのお手入れをお願いいたします。

## 通水を再開する場合



- 1 レバーハンドルが下がっていることを確認する。
- 2 水が出ない状態から通水を再開する。

## 水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合



水抜きを行っても吐水口の網目に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

## 吐水口のお手入れ

吐水口は、常に清潔な状態を保つよう心がけてください。ご使用時のはね返り水や野菜・魚などが吐水口に付着し、汚れる場合があります。吐水口の清掃は熱湯消毒などをした清潔な歯ブラシなどでこまめに行ってください。

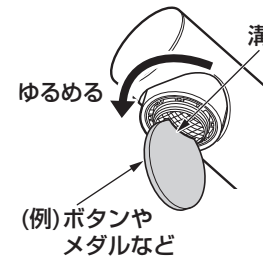
<ノーマル><吐水切り替えAタイプ><吐水切り替えBタイプ>



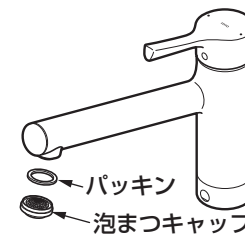
吐水口全体を歯ブラシなどで掃除をしてください。

吐水口

### ノーマルタイプ



マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。



※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

※泡まつキャップの向きに注意してください。



- 1 泡まつキャップ、パッキンを取り外す。

泡まつキャップの溝に丸い板状のもの(ボタンやメダルなど)を当てて矢印の方向にゆるめる。

- 2 泡まつキャップに詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

- 3 泡まつキャップとパッキンを取り付ける。

## 吐水切り替えAタイプ



部品を紛失しないように、あらかじめ洗面器などに水をためてから洗ってください。

① 付属の吐水口開閉工具をキャップの切り欠きに差し込み、回して外す。

② プラスドライバーで弁座こまを左側に回して切替部を外す。

切替部を外した状態で水を出さないでください。水が飛び散るおそれがあります。

③ キャップ・シャワー穴・切替部の小穴に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

④ 掃除が終わったら、切替部を回してすき間を2mm程度あけた状態で、弁座こまで固定する。

弁座こまを締め付け過ぎないように注意してください。

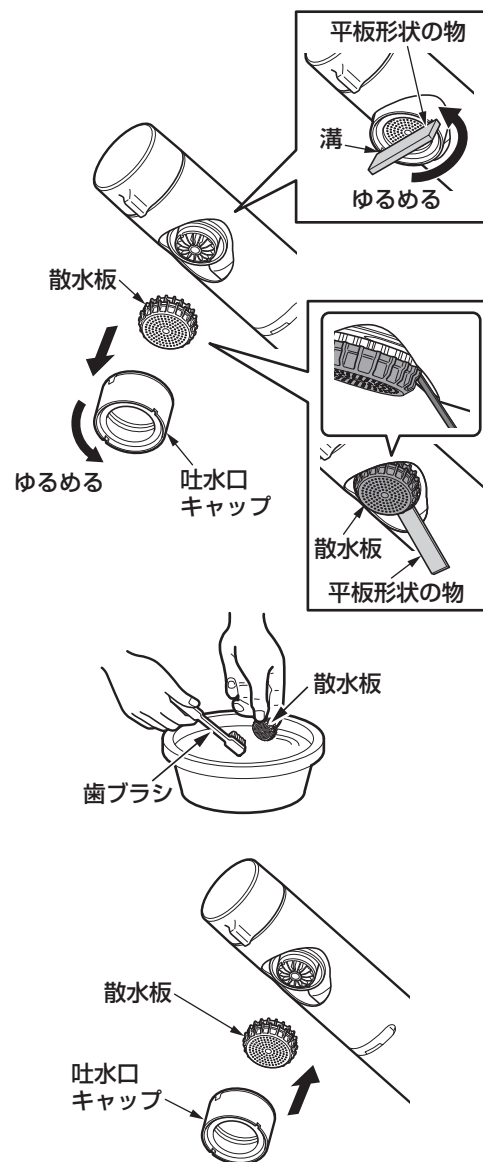
⑤ キャップを取り付ける。

※取り付け完了後、水を出し、接続部から水漏れがないか確認してください。

※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

※キャップの向きに注意してください。

## 吐水切り替えBタイプ



① 平板形状の物（バターナイフなど）を吐水口の溝に差し込み、回して外す。

散水板を傷つけないように注意してください。

② 平板形状のものを散水板に引っ掛けて取り外す。

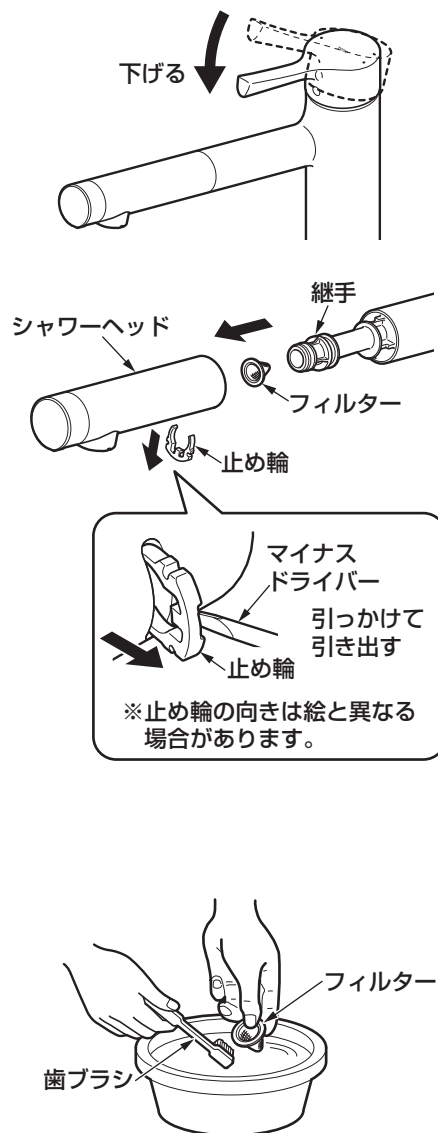
③ 散水板に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

④ 掃除が終わったら散水板を取り付ける。

⑤ 吐水口キャップを取り付ける。

## フィルターのお手入れ

### 吐水切り替えBタイプ



① レバーハンドルを下げる。

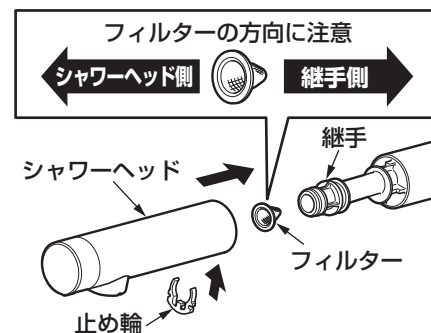
② マイナスドライバーなどで止め輪を取り外す。

めっき表面を傷つけないように注意してください。

③ シャワーヘッドを抜き、継手とシャワーヘッドの間に入ったフィルターを取り出す。

フィルターを落としてなくさないように注意してください。

④ フィルターに詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。



⑤ 掃除が終わったらフィルターを継手先端に取り付け、シャワーヘッドを継手が奥に当たるまで差し込む。

フィルターの向きに注意してください。

⑥ 止め輪を元の場所に差し込む。

シャワーヘッドが十分に差し込まれていないと止め輪が取り付けられません。

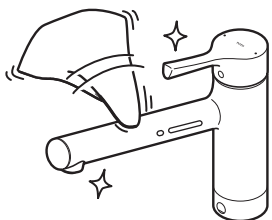
⑦ 水を出し、接続部から水漏れがないことを確認する。



## 布を使用したお手入れ

### ●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。



### ●ひどい汚れの場合

適量に薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。

## TOTO蛇口まわりのクリーナーでのお手入れ

水栓に傷をつけずに、水あかなどの汚れを効果的に除去できる「TOTO蛇口まわりのクリーナー」のご使用をおすすめします。

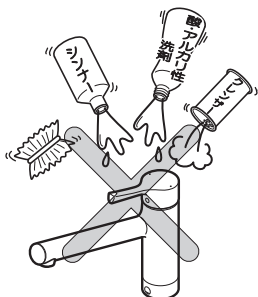


お求めに関するお問い合わせ先：  
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

### お願い

水栓が破損するおそれがあるものは使用しないでください。

- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、TOTO蛇口まわりのクリーナー以外のアルカリ性洗剤  
水栓の表面が変色したり、樹脂製部品が破損するおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤  
ゴムや樹脂製部品が破損するおそれがあります。
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、メラミンスポンジ、ブラシなど  
塗装がはがれたり、水栓の表面が傷つきます。



## 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

### 商品のガタツキ(年2回以上)



使い始めに比べてガタツキなどの異常を感じる部分がないかを確認する。

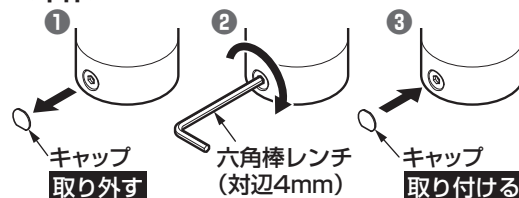
配管まわりにガタツキがあるままお使いになると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

また、ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やめっき部品の表面が割れて、けがをするおそれがあります。

ガタツキがある場合はキャップを外し、本体を固定するねじを締めなおしてください。それでもガタツキがなおらない場合はお求めの取扱店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。(有料になります)

### 本体およびレバーハンドルの固定方法

#### <本体>



キャップまたは化粧キャップを外し、六角棒レンチ(対辺4mmおよび2.5mm)を使用してねじを締めなおす。

長さが80mm以上の六角棒レンチを使用しないでください。(ねじ部が破損するおそれがあります)

#### <レバーハンドル：メタルタイプの場合>

